

株式会社オオイシ

ポジティブインパクトファイナンス評価書

2024年9月30日



大垣共立銀行とOKB総研は、株式会社オオishi（以下、「同社」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクト/ネガティブインパクト）を分析・評価した。

この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアチブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、大垣共立銀行とOKB総研が開発した評価体系に基づいている。

目次

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ	1
(1) 株式会社オオイシの企業概要	1
(2) 株式会社オオイシの事業概要	3
(3) 経営理念	4
(4) サステナビリティ	5
2. インパクトの特定	7
(1) バリューチェーン分析.....	7
(2) インパクトマッピング.....	7
(3) インパクトリーダーによるマッピング.....	8
(4) 特定したインパクト.....	12
(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認.....	15
3. インパクトの評価	17
4. モニタリング	19
(1) 株式会社オオイシにおけるインパクトの管理体制.....	19
(2) 大垣共立銀行によるモニタリング	19

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ

(1) 株式会社オオインの企業概要

企業名	株式会社オオイン
創業	1968 年
設立	1988 年 3 月 1 日
代表者名	代表取締役 大石裕也、代表取締役 大石力也
資本金	1,000 万円
従業員	15 人（2024 年 7 月時点）※パート含む
売上高	14 億円（2024 年 2 月期）
事業拠点	本社 愛知県清須市清洲田中町 32-2
事業内容	玩具の販売
関連会社	株式会社ヒロシホールディングス（親会社・資産管理、不動産賃貸業）



＜沿革＞

1968 年	食玩（おもちゃ付き菓子類）の販売業者として、西枇杷島町にて創業
～	玩具の販売業者へ業態変更、海外からの輸入を開始
1988 年	法人設立
1999 年	稲沢市へ本社移転
2005 年	清州物流倉庫を開設
2007 年	稲沢本社と清州物流倉庫を併合、清須市に本社移転
2008 年	甚目寺物流倉庫を開設
2013 年	太陽光発電事業を開始
2014 年	春日物流倉庫を開設
2017 年	不動産賃貸事業を開始
2020 年	関連会社 株式会社ヒロシホールディングス設立 不動産賃貸事業を移転

(2) 株式会社オオイシの事業概要

【事業内容】

同社はおもちゃの販売を行っている。取り扱うおもちゃは幼児～小学生児童向けの小物玩具であり、600 種類以上の多種多様な商品ラインナップを有する。同社商品の最終需要者は全国に広がっており、主な使用目的は、お祭りの商品やイベントの景品、飲食店やカーディーラー店などでのサービス品である。

また、同社は第一輸入元として機能しており、主な販売先は国内商社各社である。同社が取り扱う小物玩具類を海外から仕入れて国内商社に卸す同業者は全国に5社ほどしかなく、専業は同社のみであり、他社は国内の卸問屋も兼ねている。海外からの仕入れ専業として、小売店等への営業人員が不要であるため、コストを抑えることができ、国内商社と棲み分けができています。

同社の輸入元は、台湾の商社である。同台湾商社は中国に現地子会社を持ち、同子会社経由で、中国の玩具メーカーに発注し、仕入れを行っている。同社と台湾商社の中国現地子会社とは、仕入れ商品の選定や企画・開発等で密接に連携しており、安全性など同社の商品選定に際しての方針を直接伝えることができる。また、商品の企画・開発などを同社から提案することもある。また、パッケージなどは同社がプロデュース・デザインしている。

〈取扱商品例〉



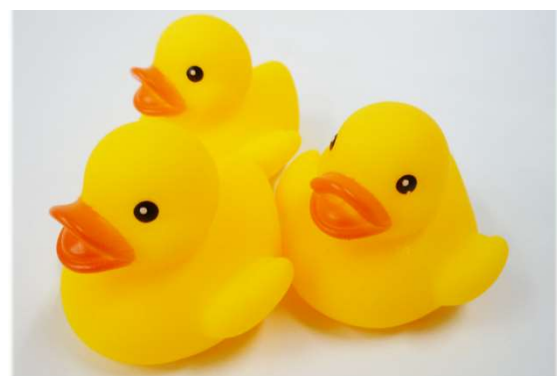
「光るうちわ花火」
(スイッチで光るうちわ)



「ピカピカ水族館」
(水に浮かべてすくう光るおもちゃ)



「光る棒つきうんちくん」
(スイッチで先端のマスコットが光る)



「うきうきアヒレ」
(水に浮きビコビコ音が鳴る笛つき)



「グランプリエフワンマシン」
(プルバックで走る)



「レインボークリアスプリング」
(のびて遊ぶスプリング)

【同社の強み】

- ・ 業界動向として、少子化が進行する中ではあるが、子どもの人数は減っても子どものいる家庭が 1 世帯あたりでおもちゃ等にかかる総額は大きく減っていないなどの要因から、需要は堅調にある。
- ・ 業界屈指の多種多様で豊富な在庫を有しており、あらゆる要望に応えられる体制を構築している。
- ・ 同社は小物玩具業界をリードする存在であり、他社に先駆けた商品展開がなされている。商品の取り扱いや価格帯など同業他社から基準とされることも多い。
- ・ 同社取扱商品は海外製の輸入品であるが、パッケージについては同社がプロデュース・デザインしている。長年ノウハウを基に、魅力的な商品作りが可能である。
- ・ 費用対効果の面から全てではないものの、輸入商品に対する食品衛生法上必要とされる検査を実施しており、安全性の高い商品展開を実現している。また、ケガにつながるようなリスクがある商品は取り扱わないようにしている。

(3) 経営理念

同社には、明確な経営理念はないが、以下のような考えの下、事業活動に取り組んでいる。

オオishiと関わった人々が幸せに

おもちゃ業界の発展に寄与する

お客様第一の対応を

こうした考えに基づいた経営を推進している結果、高い顧客満足度や、従業員の定着、業界内における良好な関係作りが実現しており、同社の持続的な発展を支えている。

(4) サステナビリティ

同社は下記の内容で SDGs 宣言を行う予定であり、これを指針として課題に取り組んでいく。

「SDGs 宣言」

【商品・サービス】

種類豊富で安心・安全に使用して頂けるおもちゃの仕入れ・販売により、玩具製造・販売を通して子どもたちの笑顔を創出し、地域社会に貢献してまいります。

【環境】

自社消費用太陽光発電設備を率先して導入し創エネの推進に取り組むとともに、省エネ活動や廃棄物の削減に取り組み、事業活動を通して CO2 削減に貢献してまいります。

【人権・働きがい】

多様な人材の活躍に向け、柔軟な勤務体系の構築によりワーク・ライフ・バランス実現に貢献し、皆が安心して働ける会社づくりに取り組んでまいります。

【地域貢献・社会貢献】

地域祭事等でのおもちゃの寄付や社会福祉団体への寄付を通じ、社会貢献活動と次世代人材の教育支援を推進し、住み続けられる街づくりの実現に貢献してまいります。

それぞれの重点項目(マテリアリティ)において、具体的には以下のような取り組みを行っていく。

①商品・サービス

- ・ おもちゃの企画から関与し、お客様の声を反映した商品提供を実施
- ・ 在庫管理システムを活用し、多種多様な商品の在庫管理とスピーディな提供を実施
- ・ 数百種類のおもちゃを安全に販売できる品質管理体制の構築



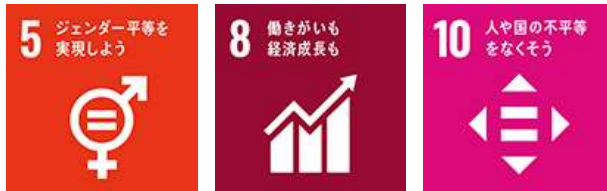
②環境

- ・ バッテリー式フォークリフトの利用、自社消費用太陽光発電設備の活用により CO2 排出量の削減に貢献
- ・ 規格外おもちゃの無償提供によりリユースを実現
- ・ ビニールごみをはじめとした廃棄物の適切な処理と削減の推進



③人権・働きがい

- ・ 有給休暇の取得・残業ゼロの職場づくりを推進しワーク・ライフ・バランスの実現に貢献
- ・ ハラスメント防止についての周知・徹底
- ・ 年齢・性別を問わない採用とライフスタイルに合わせた勤務形態の構築



④地域貢献・社会貢献

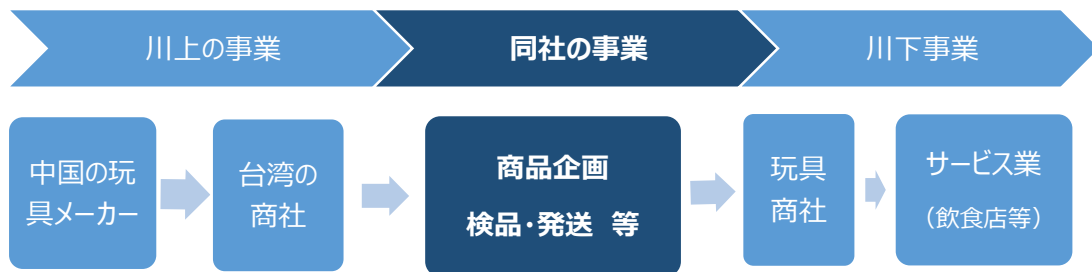
- ・ 地域で開催されるお祭り等への規格外おもちゃの寄付を実施
- ・ 清洲城イベント等での駐車場貸出実施
- ・ 就労支援事業所への業務委託等の実施
- ・ 社会福祉団体への寄付の実施



2. インパクトの特定

(1) バリューチェーン分析

- 同社は、幼児～小学生児童向けの小物玩具の卸売業で、600 種類以上の多種多様な商品ラインナップを有する。
- 同社は、台湾の商社経由で商品を輸入し、国内の玩具商社へ販売している。商品の最終需要者は全国に広がっており、主な使用目的は、お祭りの商品やイベントの景品、飲食店やカーディーラー店などでのサービス品である。
- また、同社は、輸入元である台湾商社の中国の現地子会社経由で、中国の玩具メーカーに発注を行っている。同社と台湾商社の中国現地子会社とは、仕入れ商品の選定や企画・開発等で密接に連携しており、安全性など同社の商品選定に際しての方針を直接伝えることができる。また、商品の企画・開発なども同社から提案することもある。また、パッケージなどは同社がプロデュース・デザインしている。



(2) インパクトマッピング

- 大垣共立銀行は、先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施する。
- 同社の事業として、「その他の家庭用品卸売業（国際標準産業分類：4649）」を取り上げる。
- 川上の事業として、「ゲーム及び玩具製造業（同：3240）」を取り上げる。
- 川下の事業として、「露店及び市場によるその他商品小売業（同：4789）」、「レストラン及び移動式飲食業（同：5610）」を取り上げる。

(3) インパクトレーダーによるマッピング

バリューチェーン	川上		同社		川下			
	ゲーム及び玩具製造業 (3240)		その他の家庭用品卸売業 (4649)		露店及び市場によるその他商品小売業 (4789)		レストラン及び移動式飲食業 (5610)	
インパクト	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
水								
食料							●	
住居								
健康・衛生	●		●				●	
教育								
雇用	●	●	●	●	●	●	●	●
エネルギー								
移動手段								
情報								
文化・伝統							●●	
人格と人の安全保障								
正義								
強固な制度・平和・安定								
水（質）		●		●				
大気		●		●				
土壌		●						
生物多様性と生態系サービス				●				
資源効率・安全性		●						
気候		●		●				
廃棄物		●		●		●		●
包括的で健全な経済	●				●			
経済収束								

「●●」は重要な影響があるカテゴリを示す

「●」は影響があるカテゴリを示す

発現したインパクトについて、川上・同社・川下の事業について、カテゴリ毎の対応する SDGs ターゲットを整理する。

川上の事業

(i) 「資源効率・安全性」・「廃棄物」

- ・ 同社が取り扱う商品は、主にプラスチックを原材料として使用しているため、製造する過程で、温室効果ガス排出、土壌や水源、大気汚染などの環境問題を引き起こすリスクがある。
- ・ 同社は、再生プラスチックを使用した商品企画を玩具メーカーに提案している。将来的には再生プラスチックを使用した製品の取扱数を増やしていく方針であり、NI 縮小に寄与していくと想定される。
- ・ SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

12.5：廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する

(ii) 「包括的で健全な経済」

- ・ 「無償で配布される幼児用玩具」は、原材料や人件費高騰による商品価格の値上げが難しく、川上企業に対して、仕入価格を見直さないケースも多い。
- ・ 同社は、業界屈指の多種多様で豊富な在庫を有しており、小物玩具業界をリードする存在であるため、商品価格の見直し（値上げ）を実施し、値上げ分を仕入価格に適正に反映させており、玩具業界のサプライチェーンの維持に貢献している。
- ・ SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

9.2：包括的かつ持続可能な産業化を促進し、2030 年までに各国の状況に応じて雇用及び GDP に占める産業セクターの割合を大幅に増加させる

(iii) 評価対象外のカテゴリ

- ・ 「健康・衛生」、「雇用」、「水（質）」、「大気」、「土壌」、「気候」に関するインパクトは、同社による事業と直接的な関与が少ないため評価対象外とした。

同社の事業

(i) 「健康・衛生」

- ・ 幼児用玩具は、幼児のストレス緩和により、健康と幸福を促進する。また、形状や色、音、文字などを学ぶための玩具を使用することで、幼児の学習能力や認識能力が向上し、健康な発達を促進することができるという PI が発現する。
- ・ 同社の商品は、主に飲食店やカーディーラーなどで配布されている。幼児が自由に行動できない環境下において、同社の商品は幼児のストレス緩和に貢献している。
- ・ また、同社は多くの発光する玩具を取り扱っており、幼児の視覚刺激、知覚と認識の発達などに貢献している。
- ・ SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

3：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

(ii) 「雇用」

- 労働によって従業員の生活が支えられるという PI と、労働環境によっては従業員の健康状態が害されるという NI が発現する。
- 同社は、繁忙期と、通常期・閑散期で就業時間を変更、柔軟な有給休暇の取得など、働きやすい環境を提供している。パートを含む従業員の平均年齢が45歳と高齢化が進みつつあるため、今後は健康経営にも取り組んでいく方針である。なお、同社が行う作業は軽作業がほとんどで、労働災害リスクは小さい。朝礼時の注意喚起や、役員の定期的な見回りにより、重大な労働災害は創業以来発生していない。
- また、同社は、パッキングなどの簡易作業を「障がい者就労支援事業所」に委託しており、障がい者の就労機会を提供している。
- これらの取り組みにより、PI 拡大、NI 縮小に寄与している。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

8.5：若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する

8.8：すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する

10.2：年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。

(iii) 「気候」

- 製品の保管や出荷、配送など、同社の事業活動において、温室効果ガスの発生という NI が発現する。
 - 同社は、太陽光発電設備を2年前に導入、電気自動車充電設備も備えている。今後は、CO2 排出量算定の開始、トラック、営業用車両のEV等への切り替えを計画しており、これらの取り組みにより、NI 縮小に寄与していく。
 - SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
- 13.2：気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む

(iv) 「廃棄物」

- 不良品、配送上の梱包材等、廃棄物の発生という NI が発現する。
 - 同社は、環境保全に向けた取り組みとして廃棄物の削減に注力している。同社では不良品率は1%未満と低い。なお、不良品は廃棄せず、近隣の障がい者施設や、祭り等に寄付している。
 - また、配送で使用する梱包材において、布製パレットの割合を増やす計画であり、NI 縮小に寄与していく。
 - SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
- 12.5：廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する

(v) 評価対象外のカテゴリ

- 「水（質）」、「大気」、「生物多様性と生態系サービス」に関するインパクトは、同社による事業と直接的な関与が少ないため評価対象外とした。

川下の事業

(i) 「包括的で健全な経済」

- 幼児用玩具を提供する飲食店などのサービス業では、同業他社との差別化、リピーターの獲得など、集客に繋がるというPIが発現する。
- 同社は、600種類以上の商品を取扱っており、同社がパッケージをデザインすることで、より魅力的な商品に仕上がっている。
- SDGsでは、以下のターゲットに該当すると考えられる。

9.2：包括的かつ持続可能な産業化を促進し、2030年までに各国の状況に応じて雇用及びGDPに占める産業セクターの割合を大幅に増加させる

(ii) 「健康・衛生」

- 同社は、「安心・安全な玩具の提供」を意識して取り組んでいるため、インパクトを追加する。
- 同社は、幼児のケガにつながるようなリスクがある「金具を使用した商品」は取り扱いわないことを徹底している。また、食品を包含する玩具は、食品衛生業法上の検品を行っており、NI縮小に寄与している。
- SDGsでは、以下のターゲットに該当すると考えられる。

3：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

(iii) 評価対象外のカテゴリ

- 「食料」、「雇用」、「文化・伝統」、「廃棄物」に関するインパクトは、同社による事業と直接的な関与が少ないため評価対象外とした。

(4) 特定したインパクト

以上を踏まえて、同社のインパクトをE S G（環境・社会・ガバナンス）毎に特定した。

環境（Environment）

環境に配慮した経営

- 同社は、太陽光発電設備の設置、電動フォークリフトの導入に取り組んでおり、環境面に配慮した経営を行っている。
- 今後も、自社の事業活動から生じる環境負荷軽減に取り組んでいく方針であり、具体的には以下の施策を検討している。
 - ① CO2 排出量算定の開始
 - ② トラック、営業用車両の EV 等への切り替え
 - ③ 梱包用フィルム材の廃棄量の削減※

※現在は、玩具等を輸入する際に“プラスチック”の梱包用フィルムを使用しており、約 1 m³の廃棄コンテナにて年間 50 箱分廃棄している。今後は、リサイクル可能な“布製”の梱包材の使用割合を増やしていく。

- このインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは、「気候」、「廃棄物」のカテゴリに該当し、環境面の NI を縮小すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 12.5：廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する
 - 13.2：気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む

環境に配慮した玩具の取扱数の増加

- 同社が取り扱う商品のほとんどが、プラスチックを原材料として使用しているため、製造する過程や廃棄の過程で、温室効果ガス排出、土壌や水源、大気汚染などの環境問題を引き起こすリスクがある。
- 同社は、玩具メーカーに対して各種提案が行える関係性を構築しているため、再生プラスチックを使用した商品企画の提案が可能である。再生プラスチックの利用を進めることで、原料となる石油の利用削減やプラスチックごみの削減という効果がある。今後、再生プラスチックを使用した製品の取扱数を増やしていく方針である。
- このインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「資源効率・安全性」、「廃棄物」のカテゴリに該当し、環境面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 12.5：廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する

社会（Social）

子どもたちの幸福と小物玩具業界発展への貢献

- 同社は、業界屈指の多種多様な在庫を有しており、全国の玩具卸業者からの要望に応えられる体制を構築している。

- また、商品の企画段階から携わることもできるため、お客さまの声を反映した商品企画も行っている。
- 今後も、取扱点数、取引先数の増加に向けて取り組んでいく方針であり、魅力ある商品提供により多くの子どもたちにおもちゃで楽しく遊ぶ機会を提供し、小物玩具業界の持続可能な発展に貢献していく。
- このインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「健康・衛生」、「包括的で健全な経済」のカテゴリに該当し、社会・経済面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

3：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

9.2：包括的かつ持続可能な産業化を促進し、2030 年までに各国の状況に応じて雇用及び GDP に占める産業セクターの割合を大幅に増加させる

就労機会の提供

- 数年前より、同社はパッキングなどの簡易作業を、近隣の「障がい者就労支援事業所（2 施設）」に委託している。委託可能な作業は障がいの度合いにより異なるため、委託先と定期的に打ち合わせを行い、作業内容を調整している。
- 今後も、委託作業や委託先を増やし、障がい者の就労機会を提供していく方針である。
- このインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「雇用」のカテゴリに該当し、社会面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

8.5：若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する

8.8：すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する

10.2：年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する

安心して働きやすい職場環境の提供

- 同社は、業務時間内に業務を終らせるよう社内徹底されており、基本的に残業は発生しない。ただし、夏祭りなどイベントが多い繁忙期は就業時間を増やし、その一方閑散期は減らすことにより、年間で就業時間を調整している。有給休暇についても柔軟に取得できるなど、働きやすい職場環境を提供している。
- 同社の従業員の平均年齢が 45 歳と高齢化が進みつつあることから、より一層健康で働ける環境を整備するため、健康経営にも取り組んでいく方針である。
- このインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「雇用」のカテゴリに該当し、社会面の PI を拡大、NI を縮小すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

8.8：すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する

企業統治（Governance）

安全で働きやすい職場環境の提供

- 同社が行う作業は、商品の運搬など軽作業が大半であるため、労働災害のリスクは小さいが、朝礼においてフォークリフトの操作等の事故発生リスクがある業務に関する注意事項を徹底している。また、定期的に役員が倉庫内の見回りを行い、事故や怪我リスクの事前防止を図っていることから、創業以来重大な労働事故は発生していない。
- 同社は、南海トラフ地震や豪雨水害等による従業員の安全確保と事業継続への備え、BCP を策定する方針である。
- このインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「雇用」のカテゴリに該当し、社会面の NI を縮小すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

8.8：すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する

(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認

①国内におけるインパクトニーズ

- 国内における「SDGs インデックス&ダッシュボード」を参照し、国内のインパクトニーズと同社のインパクトを確認する。
- 上記工程を経て特定した、同社のインパクトに対するSDGsは、「3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」、「8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する」、「9. 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る」、「10. 各国内及び各国間の不平等を是正する」、「12. 持続可能な生産消費形態を確保する」、「13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」に対して、国内におけるSDGsダッシュボードでは、「12、13」において大きな課題が残る、「3、8、10」において、課題が残るまたは重要な課題が残っており、国内のインパクトニーズと同社のインパクトが一定の関係性があることを確認した。

日本

OECD加盟国



戻る 概要 指標 ファクトシート 政策努力

SDG指数ランキン
グ

18 / 166

SDG指数スコア

79.87

スピルオーバースコ
ア

74.25

SDGダッシュボードとトレンド

目標をクリックすると詳細情報が表示されます。



ダッシュボード: ● SDG達成 ● 課題は残る ● 大きな課題が残る ● 大きな課題は残る ● 情報がありません

トレンド: ↑ SDG達成は順調または維持中 ↓ 中程度に改善 → 停滞 ↓ 減少 ** トレンド情報は利用できません

②海外におけるインパクトニーズ

- 同社は、中国の玩具製造会社が製造した玩具を台湾の商社経由で輸入しているため、中国のインパクトニーズについても整合性を分析する。
- 特定したインパクトに対するSDGsのゴールが中国においても重要度が高いことが確認できる。

中国

東アジアと南アジア



③大垣共立銀行が認識する社会課題との整合性

- 大垣共立銀行は、「サステナビリティ基本方針」において「地域経済の持続的成長」「地域のイノベーション支援」「多様な人材の活躍推進」「気候変動対応、環境保全」「地域資源の活用」「コーポレートガバナンスの高度化」の6つを重点課題（マテリアリティ）としている。
- 同社の特定したインパクトは以下の通り、大垣共立銀行の重要課題（マテリアリティ）と方向性が一致する。

同社の特定したインパクト	大垣共立銀行の重要課題（マテリアリティ）
環境に配慮した経営 環境に配慮した玩具の取扱数の増加	気候変動対応、環境保全
子どもたちの幸福と小物玩具業界発展への貢献	地域経済の持続的成長
就労機会の提供 安心して働きたい職場環境の提供 安全で働きたい職場環境の提供	多様な人材の活躍推進

以上のように、大垣共立銀行は本件の取組みが、SDGs の達成および貢献に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることにつながることを目指している。

3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、PI の拡大、NI の緩和・管理が適切になされるかを評価し、特定したインパクトに対し、それぞれに KPI を設定する

環境に配慮した経営

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面において NI を縮小
カテゴリ	「気候」「廃棄物」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・EV 等の導入や布製パレット梱包材の導入等により、更なる環境負荷低減に取り組む
KPI	・2025 年度までに CO2 排出量算定を開始し、削減計画を策定し、計画に沿った削減を進める ・2030 年度までに自社所有トラックを EV に切り替える (2023 年度実績：EV トラック 0 台／全トラック 2 台) ・2030 年度までに梱包用フィルム材の廃棄量を 2023 年度比 40%削減する (産廃コンテナ(約 1 m³)の回収量にて、2023 年度実績：50 箱)

環境に配慮した玩具の取扱数の増加

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面において PI を拡大
カテゴリ	「資源効率・安全性」「廃棄物」
関連する SDGs	
内容・対応方針	・小物玩具業界において、再生プラスチックを使用した玩具の取扱いを推進し、省資源化やプラスチックごみの削減に貢献する
KPI	・当社取扱玩具のうち、再生プラスチックを使用した玩具数を 2030 年度までに 30 点以上にする (2023 年度実績：0 点)

子どもたちの幸福と小物玩具業界発展への貢献

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI を拡大 経済的側面において PI を拡大
カテゴリ	「健康・衛生」「包括的で健全な経済」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・消費者ニーズを捉えた新たな玩具の取り扱いを増やし、多くの子どもたちに玩具の楽しみを広げるとともに、顧客基盤拡大を目指す
KPI	・総取扱点数を 2030 年度までに 1,000 点にする (2023 年度実績：640 点) ・2030 年度までに売上高を 20 億円まで拡大する (2023 年度実績：14 億円)

就労機会の提供

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI を拡大
カテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・梱包などの簡易作業について障がい者就労支援事業所への委託を進め、就労機会を創出する
KPI	・作業委託する障がい者就労支援事業所数を、2030 年度までに 10 先にする (2023 年度実績：4 先)

安心・安全で働きやすい職場環境の提供

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI を拡大 社会的側面において NI を縮小
カテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	
内容・対応方針	・フォークリフト操作や倉庫内作業の定期的な指導により、引続き安全な職場環境を提供していく ・柔軟な有給休暇の取得や残業ゼロを目指した取組み等により、健康経営を実践していく ・南海トラフ地震や豪雨水害などを想定した BCP 体制を確立する
KPI	・重大な労働災害件数年間 0 件を維持する ・2026 年度中に健康経営優良法人を取得し、以降毎年継続する ・2030 年度までに正社員の残業時間をゼロにする (2023 年度実績：月平均 4 時間) ・2026 年度までに BCP 計画を策定し、毎年 1 回以上従業員に向けた防災に関する研修を行う

4. モニタリング

(1) 株式会社オオishiにおけるインパクトの管理体制

- ・ 同社では、大石裕也社長・大石力也社長を中心に、本 PIF におけるインパクトの特定並びに KPI の策定を行った。
- ・ 今後については、本件にかかる責任者を大石裕也社長・大石力也社長とし、SDGs の推進、並びに、本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

(2) 大垣共立銀行によるモニタリング

- ・ 本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と大垣共立銀行の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、大垣共立銀行とOKB総研が現時点で入手可能な公開情報、同社から提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 大垣共立銀行、およびOKB総研が本評価に際して用いた情報は、大垣共立銀行およびOKB総研がその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利はOKB総研に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。